



変更内容

Version: v6.1.32

# リリース内容一覧

- 新機能
  1. データチェックコマンドで処理レコードが存在するかチェックできる
- 改善項目と変更点
  1. ユーザー情報ページに登録したユーザー情報が有効ではない場合にエラーで表示
  2. インポート画面レイアウトの改善
  3. データチェックコマンドのユーザー存在チェックの改善
  4. ユーザー情報ページでログイン名を表示するよう変更
- 不具合修正

# 新機能



# 処理レコードが存在するかチェックできる

データチェックコマンドを用いて、処理対象となるレコードが存在するかチェックできるようになりました。データの入力漏れやファイルのアップロード漏れ、処理対象レコードが未作成であるなど「業務エラー」を検知できます。

## krewDataの実行ログ

**処理レコードがない（業務エラー）**

実行方法	実行結果	開始日時	終了日時
即時	成功	2023-08-15 10:31	2023-08-15 10:31
入力レコード数	出力レコード数	APIリクエスト数	コマンド数
0	0		

**更新キーの重複（システムエラー）**

実行方法	実行結果	開始日時	終了日時
即時	失敗	2023-07-31 15:16	2023-07-31 15:16
入力レコード数	出力レコード数	APIリクエスト数	コマンド数
14	0	11	

スケジュールID: 1690779682664 | フローバージョン: 1690784156652

ログメッセージ  
[請求アプリ] 指定された更新キーでレコードが一意に識別できません。設定を確認してください。重複するキーは 顧客名: グレーブ商事; 契約開始日: 2022-05-01 です。

システムエラーは検知しても業務エラーは検知しない

## 処理レコードの有無を業務エラーとして検知できる

設定ファイル | スケジュール実行 | リアルタイム実行 | フロー設定

検索 | 請求書作成 | 入力レコード数: 3 | APIリクエスト数 (推定): 13

契約管理アプリ | アプリ結合 | 請求日の設定 | フィールド選択 | データチェック | 請求アプリ

商品マスタ

**データチェックコマンドでレコードの存在チェックを行う**

データチェック | 設定 | プレビュー | プレビュー エラーレコード

- チェックエラーを検出した場合の動作を選択してください。  
データ編集フローの実行を継続する | エラー検出時の動作: エラー検出後も全レコードのチェックを行う
- チェックエラーになったレコード情報を出力するデータチェックエラーアプリを選択してください。  
データチェックエラーアプリ: データチェックアプリ | [アプリを選択](#)
- チェック内容を設定してください。  
値の妥当性チェック | 存在チェック | カスタムチェック | [レコード存在チェック](#)

処理レコードが存在しない場合は、チェック結果をエラーにする。

## ■活用シーン例

- 予実管理用の実績データが未入力になっている場合に未入力であることをお知らせする
- 今月請求予定のデータがないことを検知する（必要な項目の未入力など、入力時のヒューマンエラーに気付く）

# 改善項目と変更点



# ユーザー情報が無効である場合にエラーを表示

krewDataを使用するためには、kintoneアカウントのユーザー情報を登録する必要があります。登録したユーザー情報が無効である場合にフロー一覧画面上に赤い帯でエラー表示するよう改善しました。パスワード変更などで登録情報が変更になった場合に情報を更新する必要があるということがすぐに分かります。

フロー一覧画面

プラグインの設定

ユーザー情報ページに遷移

全画面表示 アプリアを更新

ユーザー情報ページに設定しているkintoneアカウント情報が正しくないため、スケジュール実行が実行できません。正しいユーザー情報

設定ファイル スケジュール実行 リアルタイム実行

データ編集フロー

データ編集フローを追加 リアルタイム実行のフローを利用 リアルタイム実行のフローをコピー

	データ編集フロー	スケジュール	スケジュール実行	実行結果	開始日時	終了日時	入
≡	部門集計	毎日 (1)	<input checked="" type="checkbox"/>				
≡	請求データ作成	スケジュールなし	<input type="checkbox"/>				
≡	予実集計	スケジュールなし	<input type="checkbox"/>				

ユーザー情報ページ

←

ドメイン単位の採番設定

外部サービス設定一覧

インポート

エクスポート

ライセンス

ユーザー情報

## ユーザー情報

スケジュール実行

スケジュール実行タブで作成したデータ編集フロー

kintone ログイン名

Krewkrew.com

kintone パスワード

●●●●●●

# インポート画面レイアウトの改善

インポート時に「更新」を選択した場合の画面レイアウトを改善しました。

インポートするファイルと更新したいデータ編集フローのマッチングがより簡単に行えるようになります。

←

ドメイン単位の探番設定

外部サービス設定一覧

インポート

エクスポート

ライセンス

ユーザー情報

## インポート

1. インポートするkrewData設定ファイル（JSON）を選択してください。  
gckda-app17381-20230810-16370634.json

[参照](#)

2. インポート方法を選択してください。

- 再作成：保存されているデータ編集フローをすべて削除し、選択した設定ファイルのデータ編集フローをインポートします。
- 追加：保存されているデータ編集フローに設定ファイルのフローを追加します。
- 更新：保存されているデータ編集フローをインポートするデータ編集フローの設定内容で上書き更新します。

更新対象のフローを検索できる

3. インポートするデータ編集フローを選択してください。

🔍 インポートするフローが未設定のデータ編集フロー、実行単位をキーワードで絞り込み

スケジュール実行

アプリに保存されているデータ編集フロー		設定ファイルからインポートするデータ編集フロー ?	
データ編集フロー	更新日時	データ編集フロー	更新日時
売上集計	2023-08-10 16:33	売上集計	2023-08-10 16:33
部門集計	2023-08-10 13:14	部門集計	2023-08-10 13:14
請求データ作成	2023-08-10 10:19	-----	
予実集計	2023-08-10 10:19	-----	

↑

アプリに存在するフローと設定ファイル内に含まれるフロー情報をマッチングする

[インポート](#)

# ユーザー情報ページでログイン名を表示する

これまで、ユーザー情報ページでは登録した情報をすべて●●で表示していました。今後はkintone□ログイン名はそのまま表示し、誰のアカウントで登録されているのか判別できるようになります。

The screenshot shows the 'ユーザー情報' (User Information) page in Kintone. On the left is a dark green sidebar with navigation options: '←', 'ドメイン単位の採番設定', '外部サービス設定一覧', 'インポート', 'エクスポート', 'ライセンス', and 'ユーザー情報' (highlighted). The main content area is titled 'ユーザー情報' and includes a sub-section 'スケジュール実行' (Schedule Execution) with the note 'スケジュール実行タブで作成' (Created in the Schedule Execution tab). Below this are three columns of settings:

- kintone ログイン名** (Kintone Login Name): A text input field containing 'sato'. A blue callout box points to this field with the text 'ログイン名は入力した情報をそのまま表示する' (Login name is displayed as the input information).
- kintone パスワード** (Kintone Password): A password input field with masked characters '●●●●●●'.
- Basic認証** (Basic Authentication): Includes a checkbox for 'Basic認証を使用する' (Use Basic authentication), which is currently unchecked. Below it are fields for 'Basic認証ログイン名' (Basic authentication login name) and 'Basic認証パスワード' (Basic authentication password), both currently masked.
- セキュアアクセス設定** (Secure Access Settings): Includes a checkbox for 'セキュアアクセス設定を使用する' (Use secure access settings), which is unchecked. Below it are fields for 'クライアント証明書ファイル' (Client certificate file) with a 'ファイルを選択' (Select file) button and '選択されていません' (None selected), and 'クライアント証明書ファイルのパスワード' (Client certificate file password), which is masked.

At the bottom of the page, a button indicates 'アカウントが有効です' (Account is active).



# その他改善項目と変更点

- データチェックコマンドのユーザー存在チェックの改善
  - データチェックコマンドのユーザー存在チェックにおいて、対象フィールドに複数のユーザーが設定されている場合にエラー判定してしまう動作を正しくチェックできるよう改善しました。

# 不具合修正

修正される不具合については、[こちらのページ](#)でご確認ください。